

第63回水道週間ポスター



出典:公益社団法人 日本水道協会

水道週間が始まります

水道週間

6月1日(火)～7日(月)は水道週間です。令和3年度(第63回)のスローガンは、

生活も ウイルス予防も 蛇口から

です。

なお、鳥羽市水道組合のご協力により水道週間の期間中に、水道課および各連絡所において、水道パッキンの無料配布を行います。

鳥羽市の水道事業について

鳥羽市の水道は、三重県下

水道課 ☎(26) 2780

14市の中でも2番目に長い歴史を持つっており、大正14年(1925年)10月に給水を開始しています。

まもなく100年の節目を迎えますが、これからも市民のみなさんや観光で鳥羽市を訪れるかたがたに、おいしい水を届け続けることが水道事業の役目です。

こんなことをやっています

・安心な水を飲んでいただけるよう、毎日蛇口から出る水の「おい」「色」「におい」

「の」の検査を行っています。災害の時には水が使えるように、離島や海沿いなどの孤立の心配がある地域から重点的に水道管の耐震化を行っています。

・災害などで万が一水が出なくなつた時にも早期に応急給水や施設の復旧ができるよう、関係する団体などとの連携体制を整えています。

いつでも連絡してください

「道路から水が染みだしているけど漏水じゃないかな?」「なんだか水がにごっているような気がするんだけど...」など、お気づきのことや、心配なことがあれば水道課まで連絡してください。

水道週間は、水道について国民の理解と関心を高め、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図るため、昭和34年(1959年)に当時の厚生省により制定されました。毎年6月1日～7日に、水道の現状や課題について理解を深め、これからの水道事業の取り組みについてご協力をいただくことを目的として、国や各市町村の水道事業者でさまざまな広報活動を行っています。

鳥羽市水道事業ビジョン2021を策定しました

鳥羽市の水道事業は、これまで市の発展に合わせて数次の拡張事業を重ねてきました。

大規模な水不足や、海底送水管の破損による断水という厳しい時期もありましたが、現在は安定して水道水を提供できるようになりました。

計画書では、これから先も「安心な水を未来につなぐ」ために、「安全」、「強^{きょうじん}韌」、「持続」という3つの観点で目標を設定し、必要な取り組みを整理しています。

なお、策定にあたっては、水に関する研究をされている学識経験者や、水道に関わりがあるさまざまな分野のかたからご意見やご提言をいただいています。

また、市民のみなさんにも、アンケート調査やパブリックコメントでご意見を聞かせていただきました。ご協力ありがとうございました。

左ページは取り外して折りたたむと計画書の概要版(パンフレット)として使用いただけます。ぜひご覧ください。



計画書の
ホームページ